

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度も昨年度と同様に、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月7日(水) 13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 旧田中銀行と大善寺見学コース

・旧田中銀行の説明と見学

・大善寺の説明と見学

イ 宮光園とワイン資料館見学コース

・宮光園の説明と見学

・ワイン資料館の説明と見学

ウ シャトー勝沼ワイナリー見学コース

・シャトー勝沼の説明と見学

エ 休息山立正寺見学とハーブ庭園見学とものづくりコース

・休息山立正寺の説明と見学

・ハーブ庭園の見学とものづくり

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月6日(水) 14:00～

(2) 目的 中学校の授業の様子や、各小学校の卒業生の様子を小学校の教職員が参観し、交流を図る中で、勝沼地区のブロック交流研究会としての成果や課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 中学校の授業参観

ア 授業提供 勝沼中学校 全学級 道徳・英語・国語・数学・理科授業

イ 交流会

「1学年分科会」 「2学年分科会」 「3学年分科会」

・甲州市プロジェクト・校内研究の各校の取り組みについて

・中学校の授業を参観した感想(小学校の先生方から)

- ・小学校の子どもたちの様子（学習面・生活面等）
- ・小中連携に関して（必要なこと、お互いへの要望）

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 2月19日（水）14:00～

(2) 目的 祝小学校の授業の様子を中学校の教職員および他校の小学校の教職員が参観し、交流を図る中で、勝沼地区のブロック交流研究会としての成果や課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 小学校の授業参観 学習会

ア 授業提供 祝小学校 6学級 道徳・国語・算数・特別活動授業

イ 交流会

「1・2学年分科会」 「3・4学年分科会」 「5・6学年分科会」

- ・校内研究の各校の成果と課題について
- ・各分科会の学年の子どもたちの様子（後期QU分析の結果からの実践）
- ・生活習慣の各学校での取り組みの成果と課題
- ・学習規律の各学校での取り組みの成果と課題
- ・第2回ブロック交流研究会を受けて、小中連携に関して
（授業や生活におけるそれぞれの意見交換）

III 成果と課題

- ・各回とも意義ある内容だった。ブロック交流会の「地域が抱える学習課題を共有し、その解決に向けた交流を行う」「小中連携を強化し、系統的な教育のあり方を追求する」という目的を達成することができた。
- ・第1回の臨地研修では、各小学校区にある歴史的な建物や産業などについて、より詳しく学ぶことができた。地域に目を向けたり地域教材を発掘したりすることができた。猛暑という時期の隣地研修であること、他の行事が重なり参加不可能な教職員が何名もいることから、よりよい研修の在り方を探る必要性がある。
- ・第2回の中学校の授業公開では、中学生の様子や甲州市のプロジェクトにそった勝沼中の取り組みを実際に見ることができ、学習を深めることができた。また、各学級で異なる教科の授業が行われ、様々な様子を参観できたこともよかった。また、その後の研究会では、児童・生徒の様子について話し合う中で、課題や取り組み方を確認し、共有することができた。
- ・第3回の小学校の授業公開でも、異なる教科の授業が行われ、様々な様子を参観できてよかった。小中で道徳授業を行うため、発問を議論する等、深められるとよい。
- ・よりよい集団づくりをめざすための各校の取り組みが聞け、小小連携・小中連携のための情報交換ができた。今後も情報交換を続け、共通の取り組みを共有し、実践をしていきたい。

（ブロック長 小林淳子）